

第39回バイオレオロジーリサーチフォーラム（webフォーラム）のご案内

### 摂食嚥下リハビリテーションを支える AI によるアプローチ

第39回バイオレオロジーリサーチフォーラムを下記の通り開催致します。

食べるという行為は生命を維持する上で不可欠です。またそれだけではなく人生の楽しみのひとつであり、日常生活でも大きな要素ですから、摂食嚥下障害はQOL（生活の質）に大きく関わります。脳卒中や脳性麻痺、神経難病や口腔、咽頭、喉頭の疾患などで食べる機能（すなわち摂食・嚥下機能）の障害が起きます。また加齢によっても嚥下障害が見られますので、摂食嚥下障害は高齢化社会の重大な健康問題の一つです。このフォーラムではAIによる信号処理という理工系の視点からこの摂食嚥下障害を考え、摂食嚥下リハビリテーションの最新事情をご講演して頂きます。多数のご参加とご視聴をお待ちしております。

主催：日本バイオレオロジー学会

日時：令和2年10月22日（木）13:00～14:40

参加方法：今回のバイオレオロジーリサーチフォーラムは第68回レオロジー討論会（オンライン開催）の一部として行われるため、参加ご希望の方は日本レオロジー学会のHP（<https://www.srj.or.jp/gyoji>）より討論会参加申込フォーム（Googleフォーム）をご利用してお申込み下さい。

テーマ：「摂食嚥下リハビリテーションを支える AI によるアプローチ」

司会：丸山 徹（九州大学）

講演：

1. 13:00～13:50

「摂食嚥下障害の診断とリハビリテーション  
～「食べたい」に応えるためにできること～」

玉田 泰嗣 先生（長崎大学病院摂食嚥下リハビリテーションセンター）

2. 13:50～14:40

「嚥下時の生体信号計測とAIによる信号処理」

佐々木 誠 先生（岩手大学 理工学部 システム創成工学科）

問い合わせ先：日本バイオレオロジー学会事務局

東海大学医学部内科学系循環器内科学 ([office@biorheology.jp](mailto:office@biorheology.jp))